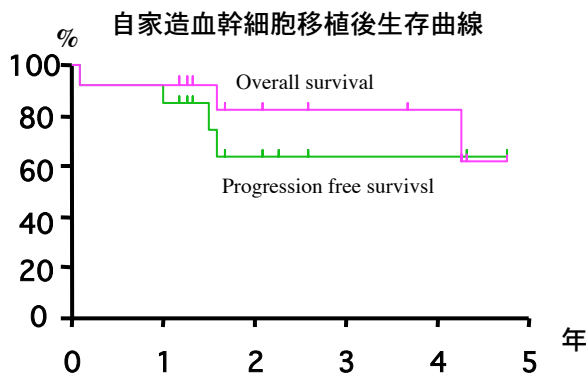
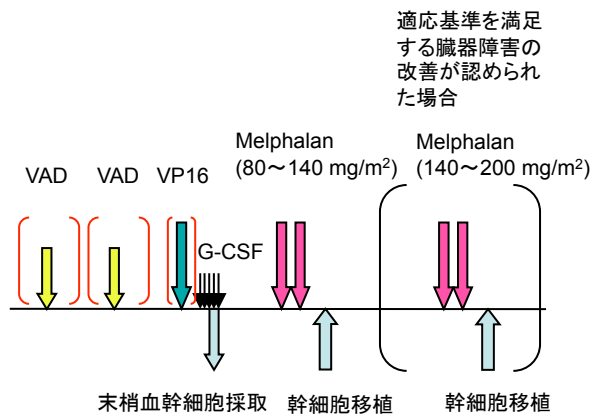


ALアミロイドーシスに対する自家造血幹細胞移植の総括

研究分担者：広島赤十字・原爆病院検査部 麻奥英毅

ALアミロイドーシスに対する自家造血幹細胞移植の総括

自家造血幹細胞移植プロトコール



対象

17例

前治療省略

9例

造血幹細胞採取

16例

G-CSF単独動員

11例

平均 2.49×10^6 /kgの幹細胞採取

採取不能

1例

自家造血幹細胞移植

15例

基準適応患者

7例

適応外患者

8例

効果

CR 11例(73%)

PR 3例(20%)

早期死亡 1例(7%)

再燃 3例

生存

12例

死亡

3例

移植断念

2例

全身状態悪化 1例

幹細胞採取量不足 1例

死亡

2例

解説

1. 毒性を考慮し幹細胞採取はG-CSF単独動員が良い。
2. また大量化学療法前の前治療は必要ない。
3. 大量化学療法の治療量を臓器障害の程度により減量することで適応は拡大できる。
4. 上記による自家造血幹細胞移植療法は認容性、有用性が有り標準療法となりうる。